

わかやま未来学副専攻 教育プログラム説明資料

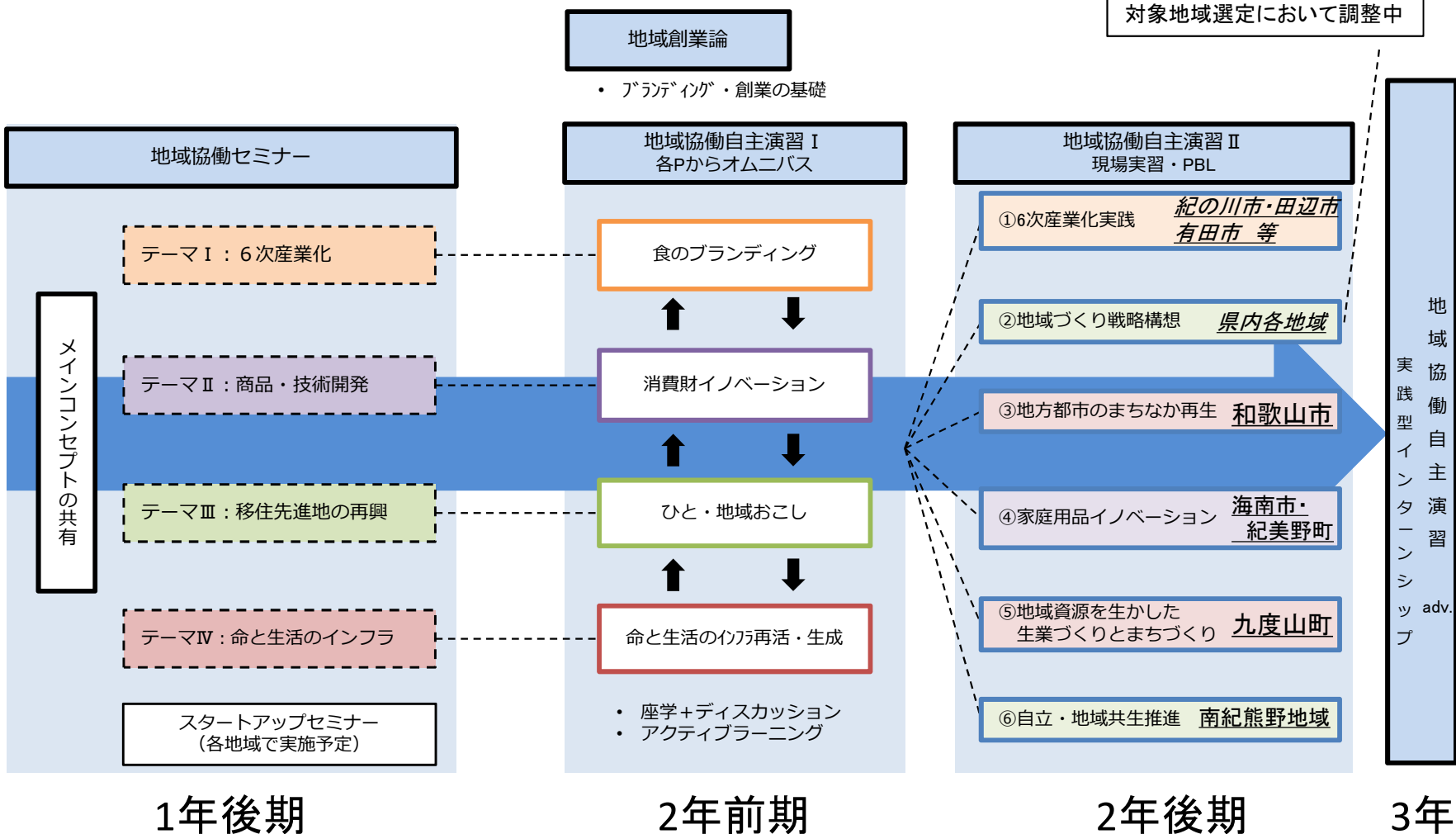
和歌山大学COC+推進室

わかやまの未来を切り拓く若者を育む“紀の国大学”の構築

4つのテーマと教育プロジェクト



県内各地域については、対象地域選定において調整中



地域専門科目群 8単位

和歌山大学 「わかやま未来学」 副専攻	1年生		2年生		3年生	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
	(基礎演習) 各学部実施	地域協働 セミナー プロジェクト 共通 1クラスで実施 <u>教室で実施</u>	地域協働 自主演習I プロジェクト 共通 1クラスで実施 <u>教室で実施</u>	地域協働 自主演習II 6プロジェクトに 分かれて 6クラスで実施 <u>フィールド</u>	地域協働 自主演習Adv. 6プロジェクト 個別に随時実施 <u>フィールド</u>	
(「わかやま」 学群) 教養 選択科目	(講義時間外 にスタートアッ プセミナーを各 地域で実施 最小4クラス) <u>フィールド</u>	地域創業論 プロジェクト 共通 1クラスで実施 <u>教室で実施</u>	プレゼンテー ションデザイ ン入門 (仮称) 計画中			

地域専門科目群 8単位

・地域協働 セミナー

今年度後期から開催される。実務家教員を招き、ディスカッション中心とした講義を実施。

4つのテーマの要素すべてを学ぶ。



科目名	地域協働セミナー		
担当教員	木村亮介,大浦由美,藤田和史,吉村典久,永瀬節治,小川宏樹		
対象学年	1年生	クラス	
講義室	G101	開講学期	後期
曜日・時限	水1	単位区分	教養
授業形態	講義	単位数	2
科目名(英語表記)	Community Collaboration Seminar		
授業のねらい・概要・科目の位置付け	わかやま未来学副専攻の導入科目として、和歌山県の「しごと」「ひと」「まち」に関する概要を知る講義。和歌山県の地方都市・地域社会が抱える多様かつ複合的な課題を理解し、その解決に取り組むための基礎知識を学ぶ。副専攻の4つのテーマ「6次産業化」「商品・技術開発」「移住先進地の再興」「命と生活のインフラ」に沿って、それぞれの課題に取り組む様々な立場の方(ゲストスピーカー)から生の話を聞く。現状と課題、そして今後の可能性を学び、それらに自らがいかに関与していくことができるかを考えます。		
授業計画	日	回	内容
	10月5日	1	オリエンテーション
	10月12日	2	地方創生と和歌山県の課題、各テーマの導入
	10月19日	3	まちなか公共空間を再生するー公民連携のまちづくり
	10月26日	4	まちなかで暮らしをつくるー空き家対策と活用に向けた新たな試み
	11月2日	5	中心市街地を再生するーリノベーションによるまちづくり
	11月9日	6	農で地域をつなぐー秋津野ガルテンの挑戦
	11月16日	7	農の可能性を拓くー和歌山県の農林水産業と6次産業化
	11月30日	8	わかやまで暮らすー「田舎暮らし応援県わかやま」と地域医療
	12月7日	9	中間振り返り
	12月14日	10	6次産業化をプロデュースするー地域食ブランディング
	12月21日	11	家庭用品をプロデュースするー産業の概略ー
	1月11日	12	家庭用品をプロデュースするー家庭用品産業とその振興ー
	1月18日	13	学校と地域を考えるー中山間地の教育現場と若者の役割
	1月25日	14	和歌山で起業するー創業事例と支援の取組
	2月1日	15	全体の振り返り
※ゲストの都合等により、内容の順序は入れ替わる場合があります。			

和歌山大学 「わかやま未来学」 副専攻	1年生		2年生		3年生	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
	(基礎演習) 各学部実施	地域協働 セミナー プロジェクト 共通 1クラスで実施 <u>教室で実施</u>	地域協働 自主演習I プロジェクト 共通 1クラスで実施 <u>教室で実施</u>	地域協働 自主演習II 6プロジェクトに 分かれて 6クラスで実施 <u>フィールド</u>	地域協働 自主演習Adv. 6プロジェクト 個別に随時実施 <u>フィールド</u>	
(「わかやま」 学群) 教養 選択科目	(講義時間外 にスタートアッ プセミナーを各 地域で実施 最小4クラス) <u>フィールド</u>	地域創業論 プロジェクト 共通 1クラスで実施 <u>教室で実施</u>	プレゼンテー ションデザイ ン入門 (仮称) 計画中			

地域専門科目群 8単位

地域協働自主演習I

グループワークを中心とした演習形式の授業を行う。

グループワークは、3コマを1セットとしたオムニバス形式で実施。

教員が提示する「お題」の元に、事例分析、課題検討、プレゼンテーションをグループとして行う。

地域の抱える課題について、チームで分析し、提案できることを目指す。



科目名	地域協働自主演習I		
担当教員	佐藤祐介、大浦由美、木村亮介、藤田和史、永瀬節治、金子泰純、宮川智子、西川一弘、田代優秋、大坪史人、富永哲雄、友淵貴之		
対象学年	2年生	クラス	
講義室		開講学期	前期
曜日・時限	木5	単位区分	教養
授業形態	講義	単位数	2
科目名(英語表記)	Community Collaboration Self-planning Exercise I		
授業のねらい・概要・科目の位置付け	わかやま未来学副専攻科目として、和歌山県の各地域が抱える課題を事例としたグループワークを中心とする講義です。和歌山県の地方都市・地域社会が抱える多様かつ複合的な課題を理解し、その解決策を自分たちの知恵をつかって提案します。副専攻の4つのテーマ「6次産業化」「商品・技術開発」「移住先進地の再興」「命と生活のインフラ」を含む事例をとりあげ、課題に取り組む様々な立場の方(ゲストスピーカー)からお話を聞き、現状と課題、そして今後の可能性をグループとして具体的に考えて提案します。グループワークは3回を1セットとして行い、講義を通じて4つの事例についてグループワークを行います。		
授業計画	日	回	内容
		1	オリエンテーション
		2	グループワークの基礎
		3	グループワーク1「6次産業化に取り組む企業の柑橘類を使った商品マーケティング企画」について現状分析
		4	グループワーク1「6次産業化に取り組む企業の柑橘類を使った商品マーケティング企画」について課題検討
		5	グループワーク1「6次産業化に取り組む企業の柑橘類を使った商品マーケティング企画」について解決策提案・プレゼンテーション
		6	グループワーク2「家庭日用品の現在・過去・未来を探ろう」について現状分析
		7	グループワーク2「家庭日用品の現在・過去・未来を探ろう」について課題検討
		8	グループワーク2「家庭日用品の現在・過去・未来を探ろう」について解決策提案・プレゼンテーション
		9	グループワーク3「移住・定住地として選ばれるための和歌山の条件・課題・戦略とは」について現状分析
		10	グループワーク3「移住・定住地として選ばれるための和歌山の条件・課題・戦略とは」について課題検討
		11	グループワーク3「移住・定住地として選ばれるための和歌山の条件・課題・戦略とは」について解決策提案・プレゼンテーション
		12	グループワーク4「紀の川流域について考えよう」について現状分析
		13	グループワーク4「紀の川流域について考えよう」について課題検討
		14	グループワーク4「紀の川流域について考えよう」について解決策提案・プレゼンテーション
	15	全体の振り返り	
※ゲストの都合等により、内容の順序は入れ替わる場合があります。			

和歌山大学 「わかやま未来学」 副専攻	1年生		2年生		3年生	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
	(基礎演習) 各学部実施	地域協働 セミナー	地域協働 自主演習I	地域協働 自主演習II	地域協働 自主演習Adv.	
		プロジェクト 共通 1クラスで実施 <u>教室で実施</u>	プロジェクト 共通 1クラスで実施 <u>教室で実施</u>	6プロジェクトに 分かれて 6クラスで実施 <u>フィールド</u>	6プロジェクト 個別に随時実施 <u>フィールド</u>	
(「わかやま」 学群) 教養 選択科目	(講義時間外 にスタートアッ プセミナーを各 地域で実施 最小4クラス) <u>フィールド</u>	地域創業論 プロジェクト 共通 1クラスで実施 <u>教室で実施</u>	プレゼンテー ションデザイ ン入門 (仮称) 計画中			

地域専門科目群 8単位

地域創業論

創業するための様々な分析ツールや戦略的な思考の枠組みを学ぶ。

さらに、実務家教員を招いて実際の創業での体験や苦労話を交えて授業を行う。

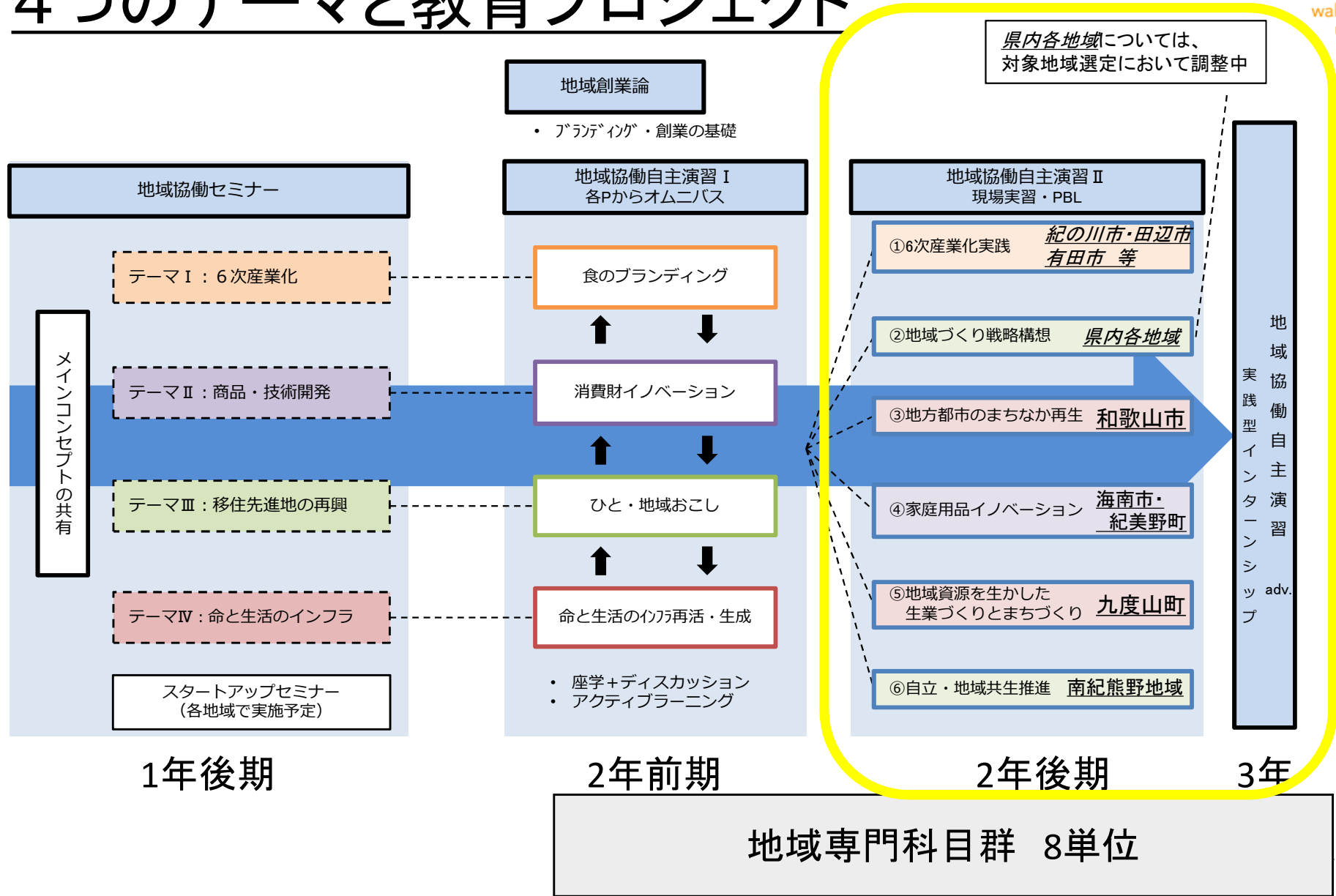
科目名	地域創業論		
担当教員	吉村典久, 加藤司		
対象学年	2年生	クラス	
講義室		開講学期	後期
曜日・時限		単位区分	教養
授業形態	講義	単位数	2
科目名(英語表記)	starting new businesses in community		
授業のねらい・概要・科目の位置付け	<p>地域において、「業」が「創」り出されること、創り出された業が安定的成長を見せることは、その経済的側面のみならず、地域社会に関わるあらゆる側面に多大なる影響を及ぼしています。</p> <p>地域社会と企(起)業活動の関係の大枠を学んだ後、創業に関係されている方々(創業者、第二創業者、公や金融機関等の支援者等)をお招きし様々な視点から、創業活動の面白さや難しさ、地域社会の活性化に不可欠なことであること、などを学んでいきます。</p>		
授業計画	日	回	内容
		1	オリエンテーション
		2	創業のための理論的講義(調整中)
		3	創業のための理論的講義(調整中)
		4	創業のための理論的講義(調整中)
		5	創業のための理論的講義(調整中)
		6	企業活動の大枠－経営戦略論の視点から
		7	創業の面白さや難しさ①
		8	創業の面白さや難しさ②－和歌山大学卒業生の事例
		9	第二創業の面白さや難しさ①－第二創業者が語る
		10	第二創業の面白さや難しさ②－金融機関などサポーターが語る
		11	六次産業分野における創業①－創業者が語る
		12	六次産業分野における創業②－公などサポーターが語る
		13	フランチャイズ分野における創業
		14	創業・第二創業に向けての各種の支援－産官学金労言の視点から
		15	全体の振り返り
※ゲストの都合等により、内容の順序は入れ替わる場合があります。			

和歌山大学 「わかやま未来学」 副専攻	1年生		2年生		3年生	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
	(基礎演習) 各学部実施	地域協働 セミナー プロジェクト 共通 1クラスで実施 <u>教室で実施</u>	地域協働 自主演習I プロジェクト 共通 1クラスで実施 <u>教室で実施</u>	地域協働 自主演習II 6プロジェクトに 分かれて 6クラスで実施 <u>フィールド</u>	地域協働 自主演習Adv. 6プロジェクト 個別に随時実施 <u>フィールド</u>	
(「わかやま」 学群) 教養 選択科目	(講義時間外 にスタートアッ プセミナーを各 地域で実施 最小4クラス) <u>フィールド</u>	地域創業論 プロジェクト 共通 1クラスで実施 <u>教室で実施</u>	プレゼンテー ションデザイ ン入門 (仮称) 計画中			

地域専門科目群 8単位

わかやまの未来を切り拓く若者を育む“紀の国大学”の構築

4つのテーマと教育プロジェクト



6次産業化実践

プロジェクト

わかやまのフルーツを加工しブランド化して発信！

1次×2次×3次

(農業) (加工) (販売)



商品開発



地域づくり戦略構想

プロジェクト

農山漁村の課題解決



生業づくり



移住促進



地方都市のまちなか再生プロジェクト

中心市街地活性化



家庭用品イノベーション

プロジェクト



全国トップシェア



地場産業



アイデア

ものづくり

デザイン



地域資源を生かした 生業づくりとまちづくり

九度山町

プロジェクト



真田幸村



古民家活用



地域資源発見



柿

自立・地域共生推進

プロジェクト

南紀・熊野地域

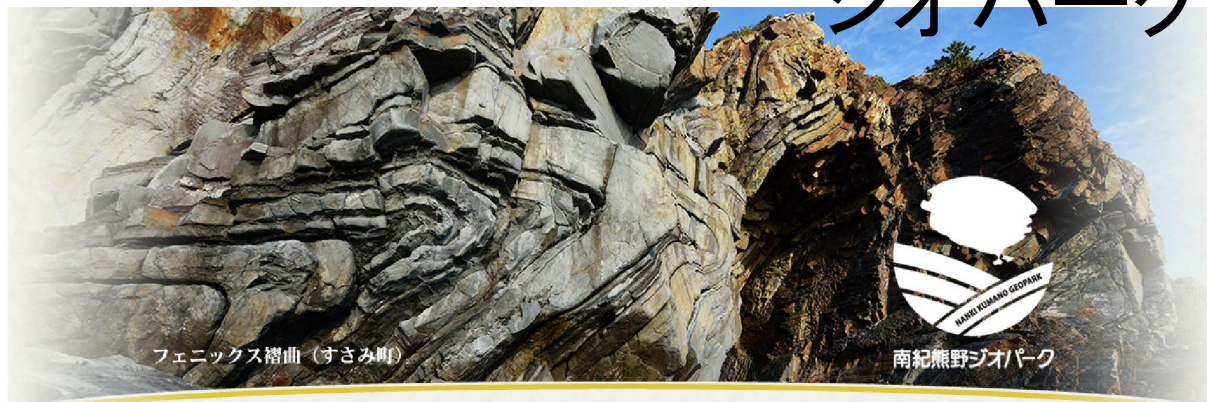
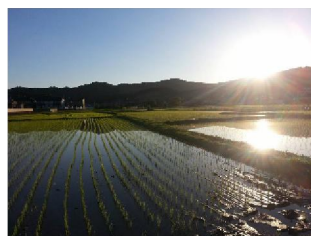
地域で仕事を創って生きていく



豊かな自然



生業づくり



フェニックス褶曲 (すさみ町)

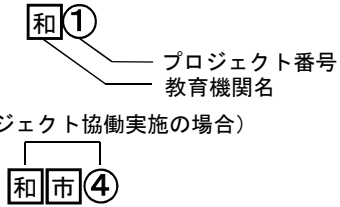
ジオパーク



紀の国大学 H.28年度プロジェクトマップ

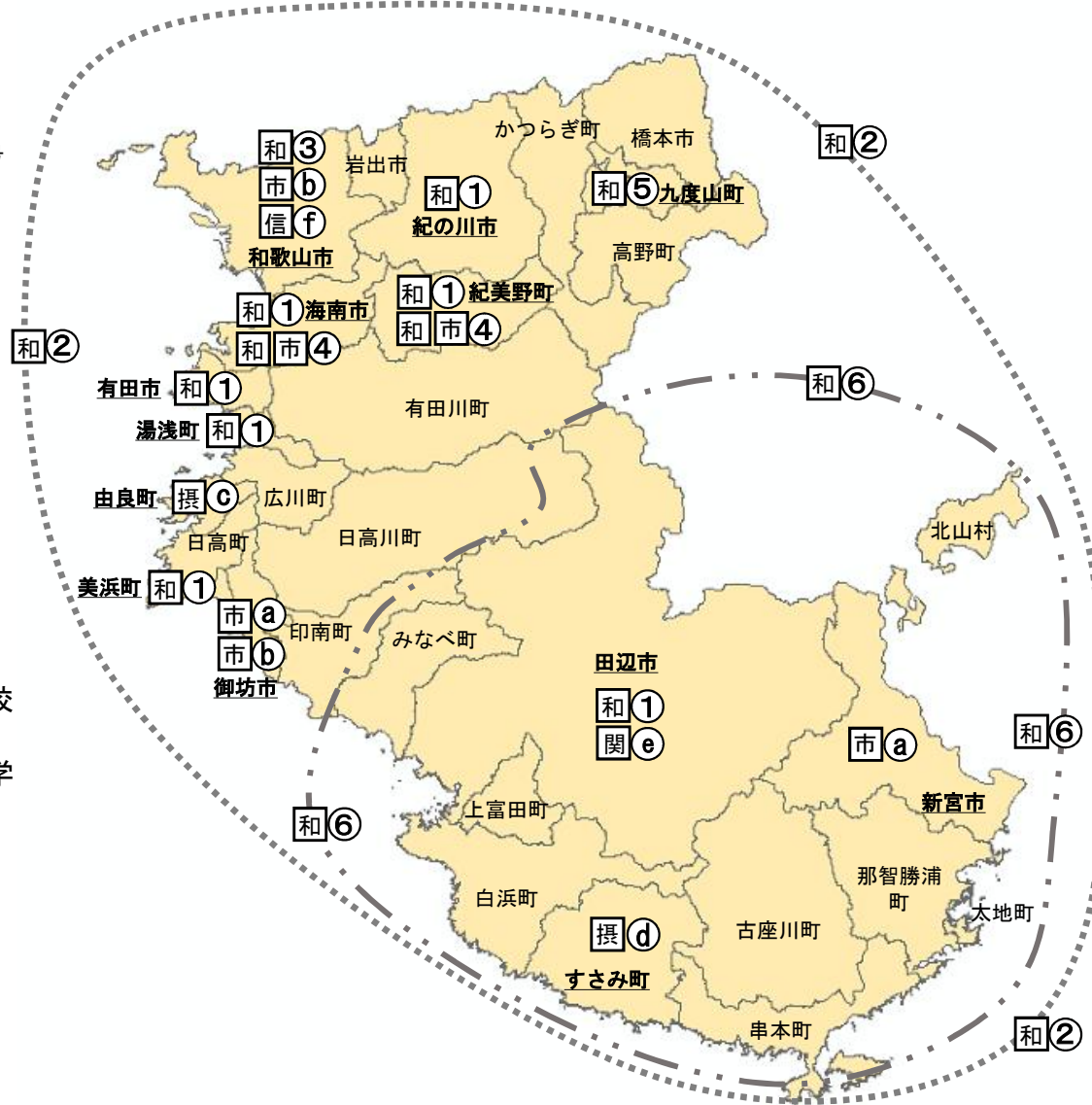
表記例

プロジェクトの実施機関



事業共同機関及び協力校の記載方法一覧

市	大阪市立大学
府	大阪府立大学
摂	摂南大学
高	和歌山工業高等専門学校
信	和歌山信愛女子短期大学
和	和歌山大学
関	関西大学
近	近畿大学
医	和歌山県立医科大学



プロジェクト一覧

- ①6次産業化実践
(紀の川市、田辺市、有田市など)
- ②地域づくり戦略構想
(県内各地域)
- ③地方都市のまちなか再生
(和歌山市)
- ④家庭用品イノベーション
(海南市、紀美野町)
- ⑤地域資源を生かした生業づくりとまちづくり
(九度山町)
- ⑥自立・地域共生推進
(南紀熊野地域全域)
- aいのちを守る都市づくりーコミュニティ防災実践ー
(御坊市)
- b紀伊半島における地域再興の学習ー都市・農山漁村の諸相に接するー
(和歌山市、御坊市、新宮市)
- c由良町における地域ブランド開発(仮称)
(由良町)
- dすさみ町における過疎地域活性化支援
(すさみ町)
- e大塔村における地域交流(仮称)
(田辺市)
- fきょう育の和
(和歌山市)

和
大
の
プ
ロ
ジ
ェ
ク
ト

参考

紀の国大学リーフレット
 大阪市立大学：全学共通科目シラバス・履修案内、地域実践演習（GATSUN）
 摂南大学PBLプロジェクトホームページ：<http://www.setsunan.ac.jp/pbl/project2016>
 和歌山信愛女子短期大学ホームページ、地（知）の拠点整備事業『きょう育の和』：<http://www.shinai-u.ac.jp/kyoikunowa/>